

Vol.47

2019年2月発行号

ご自由にお持ち下さい

地域医療の かけはしと なることを願って

なでしこ保育園通信

12月22日(土)クリスマス発表会!

0才児7名の女の子 全員歩けるようになりました(^^)/
音楽に合わせて踊ったり歌ったり、成長した姿を見せてくれました。なかには観客にびっくりして固まってしまうこともありましたが…1・2才児も可愛い衣装でお遊戯をたくさん披露してくれましたよ。

突然の園長サンタクロース(院長)の登場に泣き出す子どもたちもいましたが、プレゼントをもらってみんな笑顔になりました(^^)♪

Contents

- P2～3 麻酔科紹介
- P4 認定看護師紹介
- P5 DMAT チーム紹介
- P6 70周年記念講演・新任 Dr. 紹介
- P7 連携医療機関紹介
- P8 診療日程案内



社会福祉法人
恩賜財団 **済生会川内病院**

表紙(上)：針尾公園(長島町)

針尾公園は、今から四百数十年前に砦が築かれた跡地です。

展望台からは雲仙天草国立公園が視界いっぱいに広がり、天気の良い日には雲仙普賢岳も望めます。ここに設置された針尾空中展望トイレはチョットした驚きです。

また、眼下に見える薄井漁港にある長島大陸市場食堂の鱈王定食はオススメです。

麻酔科

Anesthesiology

ペインクリニック のご紹介

はじめに

現在当科は常勤医2名体制で麻酔管理を行っています。皆さんが手術室で手術を受ける際の麻酔を担当しています。私たち麻酔科医は、手術が決まったら、患者様の状態をチェックして、麻酔可能かどうか、どの麻酔法が良いか考えます。そして入院後に実際に患者様にお会いして、麻酔方法の最終決定をします。手術を行う際の麻酔方法には様々なものがあり、患者様の状態・手術の方法・患者様の希望を総合的に判断して決定します。

当院で行っている麻酔の方法には、全身麻酔・脊髄クモ膜下麻酔（下半身

麻酔）・硬膜外麻酔・神経ブロックがあり、これらを単独、もしくは組み合わせで行います。

体への負担を極力減らし、合併症なく手術が行えるよう、患者様が眠っている間もずっと血圧や呼吸の管理をしています。

術後鎮痛

手術後の痛みに関して不安を感じていらっしゃる方は多いと思います。手術直後から48時間が強い痛みを感じると言われています。そのあとは傷の治癒・時間の経過とともに徐々に良くなっていきます。まずは手術後の夜眠れることを目標に、そして翌日以降は離床を目標に痛みをコントロールしていきます。術後早期に使用する鎮痛薬には点滴・持続点滴・筋肉注射・硬膜外麻酔・座薬があり、眠れない場合には鎮静薬を併用します。術後数日経過して内服可能になった時点で鎮痛薬も経口のものへ切り替えます。痛みは体にとって負担ですから、我慢なさらずに、うまくお薬を使いながらコントロールしていきましょう。



済生会川内病院
麻酔科部長

日 高 帯 刀

HIDAKA TATEWAKI



済生会川内病院
麻酔科医長

原 蘭 登紀子

HARAZONO TOKIKO



済生会川内病院
麻酔科医師

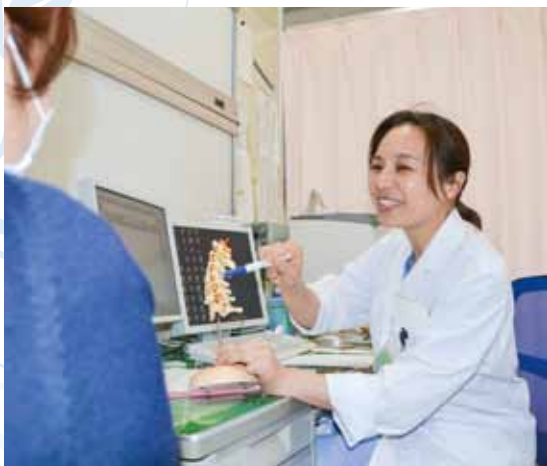
西 村 絵 実

NISHIMURA EMI

禁煙について

手術を安全に行うために患者様ご自身にがんばっていただきたいことがあります。それは禁煙です。煙草を吸っている方は手術中・手術後に痰・咳が多くなります。そのため肺炎のリスクが高まりますし、咳をするたびに傷が痛みます。喫煙していると術後の呼吸器合併症のリスクが高まります。合併症を減らすために少なくとも2週間以上は禁煙しましょう。手術が決まったら禁煙の開始です。

ペインクリニックについて



手術麻酔とは別に、ペインクリニック専門医の医師が週一回、ペインクリ

ニック外来をしています。患者様の抱える痛み・苦痛を軽減させ生活の質(Quality of life)の改善を目的とした治療を行っています。ペインクリニックは全国各地にあり、治療方法は主に、薬物療法・ブロック注射・心理療法などがありますが、治療の方針は各施設でかなり異なっています。当院の外来では主に内服薬による調整と、適応がある場合には神経ブロックを行っています。

当院だけで完結できない場合は大学のペインクリニックへ紹介したり、合併症を抱えている患者様は他科の先生方と連携をとって治療を進めていくこともあります。当院の外来で診療する代表的な疾患は带状疱疹後神経痛です。带状疱疹は痛みを伴う水疱が出現する皮膚科疾患ですが、合併症があったり高齢者では神経痛に移行し、長期間痛みやしびれが残ることがあります。シリジリ・ズキツとする強い痛みが続く場合には神経の炎症を抑え、痛みをとる治療が効くことがあります。そういう時はペインクリニックの出番です。内服・神経ブロックで治療を行います。ほかに手術後の遷延する傷

の痛みや、関節痛、片頭痛などさまざまな痛みに対し治療を行っておりま

さいごに

麻酔科は他科と比べると患者様と接する機会も期間も非常に限られています。手術麻酔、ペインクリニック外来を通し、患者様の安全を守り、苦痛軽減のお手伝いをしています。何か聞きたいこと、知りたいことがありましたら気軽に声をかけください。



感染管理認定看護師



井上 安寿子 (いのうえ やすこ)

宮崎県立看護大学 看護研究・研修センターで8か月間学び、2018年6月24日に感染管理認定看護師の資格を取得しました。

臨床現場で看護実践を行う際、患者様に安心・安全に医療や看護を提供するために感染管理は非常に大切ですが、部署により感染に対する意識の違いがありました。私自身も知識不足を感じていたため、専門知識を深めたいという思いが強くなり、感染管理認定看護師を目指しました。

感染管理は、組織横断的に活動することが大きな特徴であるため、日頃からの感染予防に対する意識づけ、感染防止をするための行動を習慣化することが大事です。医療安全管理室の感染担当として、当院を利用される患者様及びそのご家族、病院に関わる全ての職員を unnecessary 感染から守り、快適な入院生活、安心・安全に働ける環境となるように活動しています。また、感染対策チームの一員として、あらゆる部署で発生する感染に対する問題や情報を集約し、感染対策の実施が適切に行われるよう支援しています。手指消毒剤の使用量チェックや部署のラウンドは、リンクナースと協働して感染管理に対する意識を高められるように取り組んでいます。また、全職員に対して感染予防に関する教育、コンサルテーションも実施し、感染防止活動をしています。その他、感染防止マニュアルの見直しを行い 疫学的に効果が認められた感染防止技術を取り入れ、実行に移せるマニュアル作りにも取り組んでいます。感染防止対策が確実にできることで、患者様及びそのご家族に、安心して入院・外来受診をして頂けると思います。そのためには、私自身がしっかりと伝え・改善していかなければなりません。まだまだ活動不足ですが、これからも多職種と協働し、院内の医療関連感染を低減すること、安心・安全な医療が提供でき、全職員が同じ水準で感染対策ができるようにサポートしていきたいと思います。

また、病院内の感染対策にとどまらず、地域全体を踏まえた幅広い活動が重要ですので、地域の医療機関と連携をとりながら日々、感染対策に取り組んでいきたいと思います。



ディーマツト

DMATの紹介

Disaster Medical Assistance Team



看護師 川添 信也
上野 翼
小林 香織
臨床工学技師 山下 義尚
医師 有留 邦明

はじめに、DMATとは「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義されており、災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Teamの頭文字をとって略してDMAT（ディーマツト）と呼ばれています。

当院では、平成23年の東日本大震災を経て平成26年2月にDMAT1チーム目が発足しました。平成28年に熊本地震が発生した際には当院のDMATも被災地の病院で救援活動を行いました。

そして今回、平成30年10月に東京都立川市の国立病院機構災害医療センターにて隊員養成研修を受け、DMAT2チーム目が発足いたしました。構成員は医師1名、看護師3名、業務調整員（臨床工学技師）1名の計5名です。まだまだ分からないことも沢山ありますが訓練で学んだことなどを少しお話ししたいと思います。



DMATの始まりは平成7年に発生した「阪神・淡路大震災」がきっかけです。この震災で初期医療体制の遅れが考えられ、災害医療について多くの課題が浮き彫りとなりました。そして、各行政機関・消防・警察・自衛隊と連携しながら救助活動を並行し、医師が災害現場で医療を行う必要性が認識されるようになりました。そこで“一人でも多くの命を助けよう”と厚生労働省により、災害派遣医療チーム、日本DMATが平成17年4月に発足しました。その他にも災害拠点病院の設置や重症患

者の広域医療搬送計画の遂行、そして医療情報の伝達のために広域災害救急医療情報システム（EMIS）※が導入され、災害医療の体制が整備されました。この体制の中、後の東日本大震災（平成23年）や熊本地震（平成28年）において、災害の状況やその内容に対する的確な情報の共有と、それぞれのニーズに対応できる適応力を身に付けることが、DMATの活動に重要と周知されました。

DMAT隊員は、正確な情報を共有し、適応力を身に付け、迅速かつ的確な活動が出来るようにするために、日頃からの訓練も必要です。私たちも平成30年11月10日～11日に鹿児島で開催されたDMAT実働訓練にも参加してきました。災害想定は大隅地方に大雨洪水警報が発令、同日種子島沖を震源とするマグニチュード7.6の地震発生、地震に連動して鹿児島県太平洋沿岸全域に大津波警報が発令、また桜島の噴火警戒レベルが引き上げられ非難準備が発令というものでした。起こりえる災害がすべて入れ込んである内容となっており、刻々と状況が変化し、DMATチームに対するニーズも変化・多様化し、臨機応変に対応していくことを要求されました。日頃より、災害に対する意識を高めることが重要であることを再認識する機会になったと思います。

おわりに、地震を始め、津波、大雨、台風など災害大国である日本で私たちは暮らしており、我々日本人は多くの災害を経験し、災害における対応力を身に付けています。また災害に備え様々な機関をわが国は設置しています。私たちは、その中の一つであるDMATとして万が一の災害に備え、日頃から自覚を持ち、訓練に参加するなど努力して参ります。今後とも災害拠点病院として当院職員と共に、災害医療に貢献していきたいと思えます。どうぞご協力、ご支援のほど宜しくお願い致します。

※ EMIS = Emergency Medical Information System

広域災害救急医療情報システム 災害時の医療情報をインターネット上で共有し、被災地での医療情報を集約して提供するシステムのこと。

（文責 川添 信也）

市民公開講座

創立70周年記念講演会を開催しました。

文責：事務長 川畑 純一

社会福祉法人済生会川内病院は、昭和23(1948)年11月に開設されてから平成30年11月でちょうど70年を迎えました。また、今年は明治維新150周年にあたり、鹿児島ではNHK大河ドラマ「西郷どん」で大いに盛り上がりしました。そこで、去る1月26日(土曜日)、薩摩川内市国際交流センターにおいて志學館大学人間関係学部教授・鹿児島県立図書館長・鹿児島大学名誉教授の原口 泉 先生をお招きし、演題を「西郷どんと川内～済生と敬天愛人～」として、記念講演をしていただきました。

当日は175名の地域住民の皆さまにご来場いただき、院長の挨拶とスライドによる病院紹介に引き続き、原口 泉 先生に予定時間を超えて熱演していただきました。

鹿児島では親しみをもって「西郷(さいごう)さん」と呼ぶ方が多いですが、西郷さんが19歳の頃に郡方書役助(こおりかたかきやくたすけ)という下位の役職で川内にいたことがあり、川内川の氾濫や年貢徴収などで住民のために苦労したこともあって、これらに携わったことも敬天愛人の思想につながったということ、永田熊吉の役を演じられた塚地武雅さんのお母様が薩摩川内市の甕島出身であること、愛犬ツンは薩摩川内市東郷町藤川の前田善兵衛に譲り受けたこと、ツンが逃げだして2度ほど東郷町藤川まで戻ってしまったこと、薩摩川内市入来町に西郷さんが書かれた漢詩が保管されていたことなど、西郷さんと川内にまつわる興味深いお話をしていただきました。また、西郷さんに影響を受けていた長野県出身の渡辺千秋 鹿児島県令が桂太郎 総理大臣とつながりがあり、明治天皇が済生勅語(※)を発せられたのも何かの縁があったのではないかということなど。更に、済生会川内病院に多くの医師を派遣していただいている、鹿児島大学病院の前身の鹿児島医科大学の創始者がイギリス人医師のウィリアム・ウィリスであり、ウィリスが西郷さんの弟の従道の命を外科手術で救ったことやNHK大河ドラマ「西郷どん」の裏話など、ユーモアを交えながらの講演となりました。

多くの皆さまにご参加いただき、誠にありがとうございました。

※済生勅語＝明治44年2月11日、明治天皇は、時の内閣総理大臣・桂太郎を御前に召され、「生活苦で医療を受けることができずに困っている人たちを施業救療(無償で治療すること)によって救おう」と「済生勅語」を発し、お手元金150万円を下賜されました。明治天皇は生活困窮者に対して医療面を中心とした支援を行う団体の創設を提唱され、「済生会」が創立されました。



外科・消化器外科

氏名：

やすどめ りゅうたろう
安留 龍太郎



出身地 始良市

前赴任地 県立薩南病院

趣味 スポーツ観賞、フットサル、バドミントン

コメント 1月より赴任いたしました安留と申します。川内は小学校の頃、社会科見学で来て以来となります。地域の方々の健康のために尽力して参ります。どうか、よろしくお願いいたします。

産婦人科

氏名：

はまし まさよ
濱島 雅代



出身地 鹿児島市

前赴任地 鹿児島大学病院

趣味 買い物、旅行

コメント 初めての土地で分からないことも多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、頑張りますので、よろしくお願いいたします。

研修医

氏名：

やまもと はな
山本 花



出身地 中国 吉林省

前赴任地 鹿児島大学病院

趣味 ベーキング、映画観賞

コメント 研修医2年目で医師としての経験・知識は未熟ですが、常に患者様に寄り添い、専門知識の獲得に頑張ります。どうぞ、ご指導ご鞭撻の程、宜しく申し上げます。

信頼と連携の輪

連携医療機関のご紹介

地域の中核病院は、地元の医療機関との緊密な連携プレーが欠かせません。
そこで当院が日頃 大変お世話になっております連携医療機関についてのご紹介です。

《 眼科 》

▶ 川野眼科

薩摩川内市



院長名 川野 晃嗣
住 所 薩摩川内市横馬場町 6 番 3 号
電 話 0996-23-3336
診療時間 【月・水・金曜】〈午前〉9:00～12:00
〈午後〉14:00～17:00
【火・土曜】〈午前〉9:00～12:00
休診日 木曜・日曜・祝日



地域に根ざした安心の医療

【地元に貢献】

当院は今年で開院61年を迎える入院施設を完備した眼科医院です。入院生活が快適であるように常に親切かつ丁寧であることを心がけています。また川内駅から徒歩5分の立地でアクセスも良く、地域に根差した眼科医療を行っております。

【眼科専門医療】

アレルギー性結膜炎やコンタクトレンズなどの一般的な眼科診療に加え、白内障、緑内障、眼瞼下垂などの手術治療や、糖尿病網膜症に対するレーザー治療、加齢黄斑変性に対する抗 VEGF 薬硝子体内注射などを行っており、総手術件数は年間 1,000 例を超えます。特に、白内障手術では乱視矯正のトーリック眼内レンズや多焦点眼内レンズを使用しております。また翼状片に対する手術については、自己結膜幹細胞を使った方法で行っており、2012 年に米国の ARVO 学会で発表し、英語論文として報告しています。全身麻酔下での対応も可能ですのでお気軽にご相談ください。

【鹿児島大学病院眼科との円滑な連携】

毎週、鹿児島大学病院のドクターの派遣がありますので、必要に応じて大学病院専門外来や、その他の総合病院に紹介することも可能です。当院は、コンタクトレンズ診療を予約制としております。その他、診療についてのお問い合わせはお電話（0996-23-3336）ください。

《 皮膚科 》

▶ かわばた皮膚科

薩摩川内市



院長名 川畑 久
住 所 薩摩川内市高城町 1944-1
電 話 0996-22-1251
診療時間 【平日】〈午前〉9:00～12:30
〈午後〉14:00～18:00
【木曜】〈午前〉9:00～12:30
〈午後〉14:00～予約手術
【土曜】〈午前〉9:00～14:00
〈午後〉15:00～予約手術
休診日 日曜・祝日



地域の皆様に貢献出来る皮膚科を目指して

当院は平成 18 年 2 月 20 日に高城町に開院、本年度 14 年目を迎えました。

地域の皆様に貢献すべく Patient First をモットーに、皮膚を始め、目に見える全ての病変を診療するよう心掛けております。開業当初より、一般皮膚科診療はもちろん、レーザー治療や皮膚外科にも力を入れており、また当院 2 階において美容医療も行っております。

○当院で使用している医療機器と対象疾患

《一般皮膚科診療》

▶スーパーライザー（近赤外線照射装置）

アトピー性皮膚炎を始めとする湿疹皮膚炎・带状疱疹後神経痛、熱傷、褥瘡等皮膚潰瘍・円形脱毛症など

▶ナローバンド UVB/ エキシマライト VTRAC（紫外線照射装置）

尋常性乾癬・尋常性白斑・アトピー性皮膚炎を始めとする湿疹皮膚炎、円形脱毛症など

《レーザー治療》

▶Q スイッチルビーレーザー

太田母斑（青あざ）・扁平母斑（茶あざ）・老人性色素斑・刺青など

▶Q スイッチ YAG レーザー

太田母斑（青あざ）・老人性色素斑・刺青など

▶色素レーザー（Vbeam）

いちご状血管腫・単純性血管腫・毛細血管拡張症など

《皮膚外科》

▶炭酸ガスレーザー

皮膚腫瘍、イボ等の焼灼・出血を抑えた膿瘍の切開排膿など

▶サージトロン（電気メス）

皮膚腫瘍、イボ等の焼灼・創傷の止血など

《美容治療機器》

▶オーロラ / MedLite C6 / サーマクール CPT

シミ、しわ、たるみ治療器

これからも患者様に寄り添い、愛される皮膚科を目指してまいります。よろしくお願ひ致します。

診察日程案内

平成31年2月現在

■ は再診日です。

			月		火		水		木		金		土	
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科 (要予約)	糖 尿 病	宇都 正 谷山 弘樹		宇都 正		谷山 弘樹		宇都 正 谷山 弘樹		宇都 正				
	消 化 器	田口 宏樹 坂江 貴弘		上野 雄一 畠山 敏男		青崎 眞一郎		田口 宏樹 上野 雄一						
	肝 臓 (再診のみ)					非常勤医師				非常勤医師				
	循 環 器	福岡 嘉弘		福岡 嘉弘 網屋 俊		網屋 俊		福岡 嘉弘		網屋 俊				
	ペースメーカー外来 (第3・4金曜)									福岡 嘉弘				
	腎 臓	濱田 富志夫		出口 央晋		大塚 彰行		濱田 富志夫		出口 央晋				
	呼 吸 器	※末次/本川 ／中塩屋		※末次/本川 ／中塩屋				副島 賢忠						
	血液内科									中村 大輔				
一般内科		豊留 孝史郎 大塚 彰行 (岩田美恵子)		再診日		岩田 美恵子 児島 一成 竹内 彰教		再診日		竹内 彰教 坂江 貴弘 岩田 美恵子				
外科 (予約)	外 科	有留 邦明 (予約紹介のみ) ／手術	手術	有留 邦明 上木原 貴仁 ／手術	手術	手術		久保 昌亮		久保 昌亮 (予約紹介のみ) ／手術	手術			
	ストーマ外来				第1・3火曜PM 有留 邦明		第2・4水曜PM 有留 邦明							
小 児 外 科		(一般外科手術)			池江 隆正 (13時30分-16時)	(一般外科手術)			手術	(一般外科手術)	池江 隆正 (13時30分-16時)	池江 隆正 (第2・4土曜のみ) (9時30分-11時)	休診	
整 形 外 科 (再診のみ)										非常勤医師				
小 児 科		田中 主美 摺木 伸隆		田中 主美 摺木 伸隆		田中 主美 摺木 伸隆		再診日		田中 主美 摺木 伸隆		田中 主美 摺木 伸隆	休診	
泌 尿 器 科		1診 2診	手術	伏谷 俊作 杉木 太郎	手術	杉木 太郎 伏谷 俊作	手術	伏谷 俊作 玉井 元規	手術	玉井 元規 杉木 太郎	手術			
産婦人科 (予約)	産 科	野口 慎一	1ヶ月検診	担当医	検査	松尾 隆志	予約検査	濱島 雅代	手術	川原 裕二	予約検査			
婦人科	婦人科	松尾 隆志		手術日		川原 裕二		野口 慎一		松尾 隆志				
眼 科		非常勤医師		非常勤医師		木村 勝哲		木村 勝哲		木村 勝哲				
皮 膚 科		坂口 郁代		手術		坂口 郁代		坂口 郁代		坂口 郁代				
放 射 線 科		小野原 信一	放射線治療	小野原 信一	血管造影	小野原 信一	放射線治療	小野原 信一	放射線治療	小野原 信一	放射線治療			
緩和ケア外来 (要予約)		安原／原田 (精神症状緩和) 第1・3月曜日 14時-16時		有留 邦明・久保 昌亮 (身体症状緩和) 14-16時				有留 邦明・久保 昌亮 (身体症状緩和) 14-16時						
ペインクリニック (要予約)				西村 絵美										

- ※呼吸器内科は月曜日又は火曜日(不定期休診)と毎週木曜日の診察になります。
 ※肝臓内科・整形外科につきましては、初診の方の受付は行っていません。
 ●予約が必要な診療科・検査がございます。恐れ入りますが事前にお問い合わせ下さい。
 ●担当医師は学会出張などにより不在・変更が生じることがあります。
 ●がんに関する相談をがん相談支援センターで行っております。(平日9時～16時)
 ●がん患者さんとご家族のサポートを行う緩和ケアチームがあります。
 ●セカンドオピニオンに関する相談を医療連携室にて行っております。(平日9時～17時)

予約・お問い合わせは
 TEL (0996)23-5221 (代表) 予約電話 月～金曜日
 内科:14時～17時 その他:13時～17時

理念

私達は、保健・医療・福祉を通じて地域社会に貢献します。

基本方針

1. 患者様の尊厳と権利を常に尊重します。
2. 医療情報の開示と懇切な説明による開かれた医療を実現します。
3. 私達は常に研鑽し、患者様本意の、良質で安全な医療を目指します。
4. 公的の中核病院として、地域の先生方と協力し、救急医療と高度の専門医療の推進に努めます。
5. 職員の協調と信頼によって、チーム医療の充実に努め、働きがいのある職場を作ります。

患者様の権利と責務について

権利について

1. 誰でも、個人の人格や価値観を尊重され、良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 病院や治療について十分説明を受けた上で、検査や治療方法など、自分の意志で決める権利があります。
3. 診療の過程で得られた個人の情報等(プライバシー)は守られる権利があります。

責務について

1. 自分自身の健康に関する情報を、出来るだけ正確に医師や看護師に伝えて下さい。
2. 医療に関する説明を受けても十分理解できない場合は、わかるまで質問して下さい。
3. 病院の規則を守り、他の患者様の迷惑にならないようご配慮下さい。

病院案内



社会福祉法人 恩賜財団 済生会川内病院

〒895-0074 鹿児島県薩摩川内市原田町2番46号
 TEL (0996)23-5221 FAX (0996)23-9797
<http://www.saiseikai-sendai.jp/>
 mail: info@saiseikai-sendai.jp